

壁無双450を販売開始

広い開口部を確保

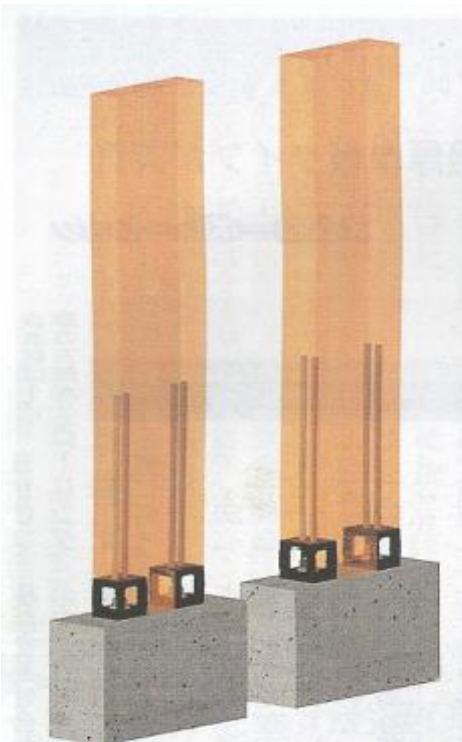
**SMB建材、翠豊、中東
スクリムテックジャパン**

SMB建材（東京 野泰之社長）、中東都、角柄明彦社長）、
翠豊（岐阜県加茂郡、 勇治社長）の4社は、
今井潔志社長）、スクリムテックジャパン（福岡県筑紫野市、河

力壁柱「壁無双450」の販売を年明けから本格的に開始する。「壁無双450」は、カラ松集成材と靱性を確保した柱脚金物「タフネスコネクター」と同商品開発に協力した日之出水道機器（福岡市、浅井武社長）の箱形金物「キューブコネクター」を使用した耐力壁柱。壁柱の柱脚部

分にキューブコネクターを接続しタフネスコネクターをエポキシ樹脂で接着することで高耐力壁を形成。120×450と150×450の2種類がある。同壁柱は、建材試験センターで面内せん断試験が行われて、特定変形角時の荷重や最大荷重、終局耐力などを測定し、短期基準せん断耐力として、120

450壁柱のタイプなら、45×90^{mm}、30×90^{mm}のたすき掛けと30×90の片筋違の耐力壁に置き換えることが可能で、施工手間や材料費の削減等によるコストメリットがある。また、これだけの壁耐力があれば、狭小耐力壁の役割も果たせるため、ビルトインガレージ等で従来より広い開口部を確保でき、また、非住宅分野でもラ



壁無双450の図。ビルトインガレージでの使用など多くの場面で活用できる

150×450壁柱が16・8kN（450幅壁倍率換算19倍相当）の評価を取得している。これは、120×450壁柱タイプなら、45×90^{mm}、30×90^{mm}のたすき掛け耐力壁、150×450壁柱のタイプなら、45×90^{mm}、30×90^{mm}のたすき掛けと30×90の片筋違の耐力壁に置き換えることが可能で、施工手間や材料費の削減等によるコストメリットがある。また、これだけの壁耐力があれば、狭小耐力壁の役割も果たせるため、ビルトインガレージ等で従来より広い開口部を確保でき、また、非住宅分野でもラ

4社では、建設が増えている木造のコンビニエンスストアなど、大きな開口部が必要とされる様々な木造建築に利用してもらえよう、提案を進めていく。